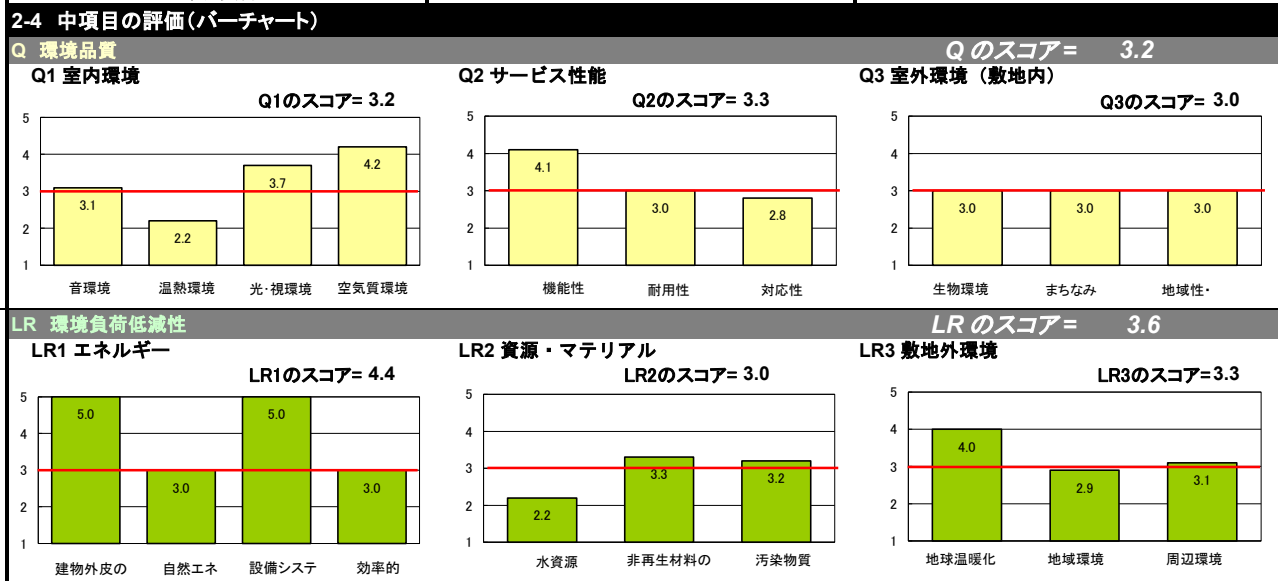
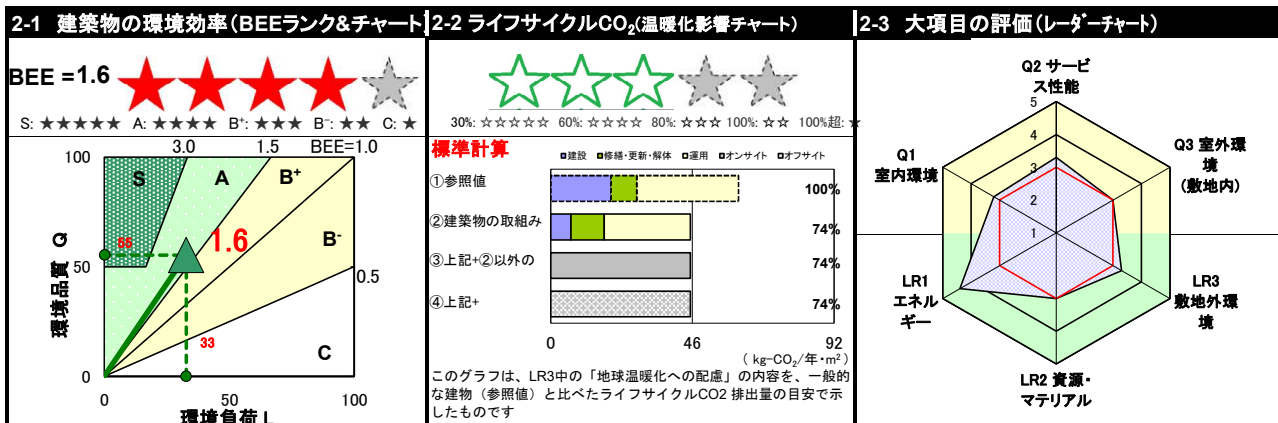


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊丹市稲野町中計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	伊丹市稲野町一丁目62番、尼崎市猪名寺三丁目162番	構造	RC造
用途地域	法第22条区域	平均居住人員	668 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年3月25日
敷地面積	6,126 m ²	作成者	長谷エコーポレーション 上田
建築面積	2,311 m ²	確認日	2025年3月27日
延床面積	13,012 m ²	確認者	長谷エコーポレーション 萩山



3 設計上の配慮事項		
総合 環境負荷低減を図り、緑地を整備することで住環境と周辺環境に配慮した計画としている		その他 特になし
Q1 室内環境 室内環境向上を目指し、断熱性能向上や遮音対策を施している	Q2 サービス性能 居室はベッド等の家具がきちんとおける広さの部屋を確保したり、天井高を2.4m以上確保し、機能性に優れた計画としている	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界際に緑地帯を設け、周辺環境に対して良好な景観となるよう配慮している
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4以上を取得することで建物の負荷抑制に努めている	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材種類の採用を重視している	LR3 敷地外環境 建物利用者のための適切な駐車駐輪スペースを確保し、交通負荷を抑制している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される